

議 事 録

会 議 名	令和6年度三芳町地域公共交通協議会総会
開 催 日 時	令和6年4月30日(火) 15時00分開会 16時00分閉会
開 催 場 所	三芳町役場3階301会議室
主宰者氏名	三芳町地域公共交通協議会
出席者	林会長、西内委員、忽滑谷委員、照井委員、関根委員、内田委員(代理:市川氏)、藤田委員、廣瀬委員、坂井委員、島根委員、永山委員、板谷委員、山田委員、篠原委員、小池委員(代理:齋藤副課長)、若林委員(代理:近藤総合調整官)、井上委員(代理:高柳副課長)、西山委員 三芳町地域公共交通計画策定支援業務委託事業者 担当1名
欠席者	金子委員
傍聴人	2名
事務局職員	政策推進室 室長 島田高志 副室長 南雲玲 政策推進担当 主任 萩原春香
総会次第	<p>1 開 会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 議 事</p> <p>第1号議案 令和5年度事業報告について</p> <p>第2号議案 令和5年度歳入出決算及び会計監査報告について</p> <p>第3号議案 令和6年度事業計画(案)について</p> <p>第4号議案 令和6年度歳入出予算(案)について</p> <p>4 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域公共交通計画策定方針について</li> <li>・公共交通ネットワーク検討案について</li> </ul> <p>5 閉 会</p>
結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1号議案について事務局より説明し、原案のとおり承認を得た。</li> <li>・第2号議案について事務局より説明し、原案のとおり承認を得た。</li> <li>・第3号議案について事務局より説明し、原案のとおり承認を得た。</li> <li>・第4号議案について事務局より説明し、原案のとおり承認を得た。</li> </ul>
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度総会【議案書】</li> <li>・三芳町公共交通計画策定方針</li> <li>・公共交通ネットワーク検討案</li> </ul>
発 言 者	議 題 ・ 発 言 ・ 結 果
	<p>1 開会</p> <p>2 会長あいさつ</p>

	<p>3 議事</p> <p>第1号議案 令和5年度事業報告について 第1号議案について、事務局より説明を行った。 ⇒質疑なし、賛成多数により議案第1号について承認</p> <p>第2号議案 令和5年度歳入出決算及び会計監査報告について 第2号議案について、事務局より説明を行った。 ⇒質疑なし、賛成多数により議案第2号について承認</p> <p>第3号議案 令和6年度事業計画（案）について 第3号議案について事務局より説明を行った。 ⇒質疑なし、賛成多数により議案第3号について承認</p> <p>第4号議案 令和6年度歳入出予算（案）について 第4号議案について事務局より説明を行った。 ⇒質疑なし、賛成多数により議案第4号について承認</p> <p>4 その他</p> <p>委員 ・三芳町公共交通計画策定方針を基に説明を行った。 用言を省略した形のもの、本当の名詞が混在している。「地域拠点をつなぐ住みよいまちづくり」の項目の「コンパクトシティを実現する交通網」「新たな拠点整備における交通の役割」について「交通網の実現」「交通網の整備」等わかりやすい表現に修正した方が良い。</p> <p>委員 ・公共交通ネットワーク検討案を基に説明を行った。 交通ネットワークを作っていくにあたりどのようなプロセスで進めていくのか。事務局の方で作成し、本会議に諮るのか、あるいはその前段階で内容について町民に意見を聞くのか。</p> <p>事務局 6月のまちづくり懇話会で町民に意見を聞く予定である。聴取した意見については6月の協議会で提示する予定である。</p> <p>委員 地域の現況について、上富地域に関しては自動車の利用が多い。人口は多くないため、現状、どれぐらいの人数が公共交通を利用しているか全体的な数字がわかると良い。路線バスは乗務員不足が顕在化し、他自治体では廃止減便について地域公共交通会議協議会で議論している。サービスを効率化し、現状の乗務員でサービスを展開していくことを考えていかなければならず、増便は厳しいと考える。利用が少ない、あるいは別の交通手段でも対応できそうな地域に関しては別の交通手段を提案することが必要になる可能性がある。バス路線については定時</p>
--	---

定路線からデマンド型にしていく方法もある。それにより乗務員に余裕ができた場合、例えば北永井地域とふじみ野駅、鶴瀬駅にピストン輸送するというやり方もある。実際にやるかどうかは別にし、いくつかの将来的な交通ネットワーク案を明示すると議論しやすい。

現状の公共交通ネットワークをそのまま維持することはできないと考える。そのため、今ある資源を効率的に活用して新しい三芳町の交通ネットワークを作っていくべきである。複数のシナリオで案を用意し、計画の中でも各案をそれぞれ提示し状況に応じてその中から選択するという方法を検討頂きたい。

「その他の視点」のページで、公共交通補助制度については必要な人が必要なだけ、移動できるような制度の構築をネットワーク案とあわせて検討して頂きたい。例えば、70歳以上の方は申出により月4回バスやタクシーを無料で利用できる等の制度をやっている自治体も多い。その中で町が何を選んでいくかといったことは計画を立てる際に重要である。路線バスの補助路線について採算が厳しくなった場合はコミュニティバスなども選択肢の中に入れておいた方がよい。

事業者送迎バスについて計画の中に盛り込むのは難しいが長期的な案として入れればよい。ライドシェアは今の制度では抜本的な乗務員不足の解決策にはならないと考える。

5 閉会